

岡山大学構内遺跡調査研究年報11

1993年度

1995年2月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

岡山大学構内遺跡調査研究年報11

1993年度

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター



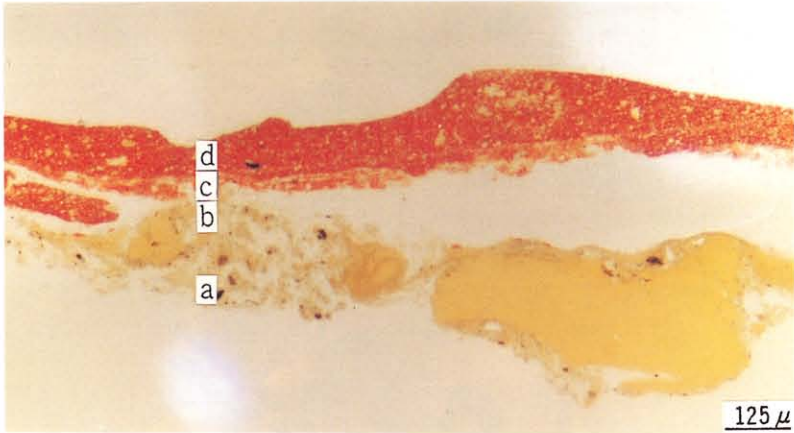
弥生時代後期の土壙と遺物出土状態（津島岡大10次調査）



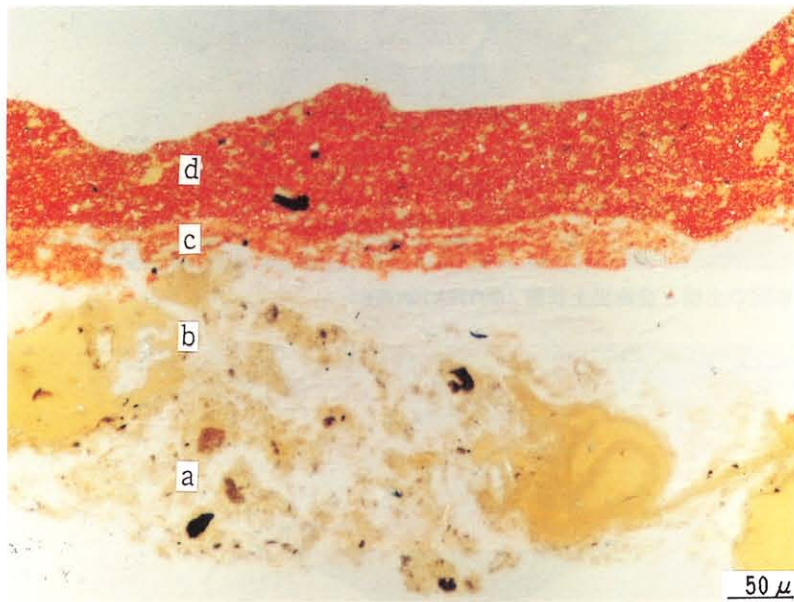
弥生時代後期と古墳時代後半の土器（津島岡大10次調査）

巻頭カラー図版 2

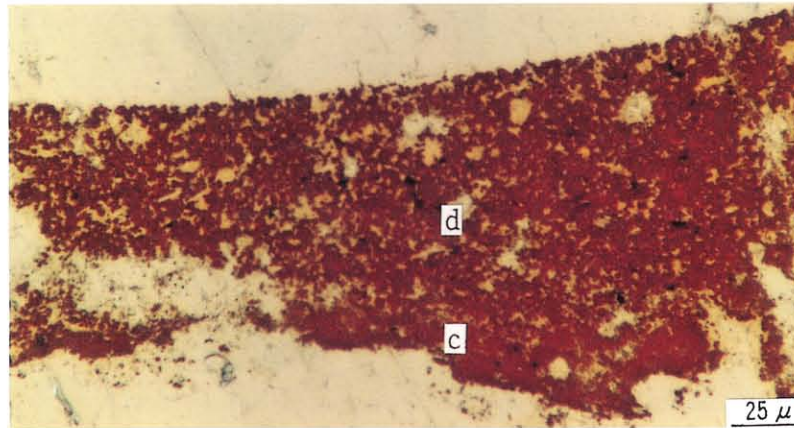
A



B



C



津島岡大（5次調査）遺跡出土の堅櫛の塗装膜断面写真（岡田論文）

序

1993年度は保健管理センターと情報処理センターの建設にともなう事前の発掘調査を行いました。保健管理センターの調査は前年度からの継続でしたが、弥生時代末から古墳時代初め頃の井戸2基、古墳時代後半期の壁面に竈をもつ堅穴住居など、多数の遺構・遺物を確認することができました。津島キャンパスのこの時期の遺跡では比較的水田遺構が多いのですが、今回本格的な集落域を明らかにすることができ、津島岡大遺跡の全体構成を考えるうえで、また今後の発掘調査の指針を得るうえで重要な意義をもつこととなりました。

1988年度に実施した大学院自然科学研究科棟建設地での発掘調査の成果を報告第7冊として刊行し、縄文時代後・晩期のドングリ類貯蔵穴のありかたと当該期土器様相の実態を詳細に検討したことも、西日本の縄文時代研究に寄与するものでありました。

こうした発掘調査の実施や報告書刊行にあたっては、当埋蔵文化財調査研究センター運営委員会から適宜指導・助言を賜っているところですが、1987年のセンター発足に至るまでの過程で中心的な役割を担われ、その後も運営委員として当センターの事業推進に援助を惜しまれなかった元教養部長定兼範明教授が、本年度をもって定年退官をむかえられました。ご尽力にたいし、あらためてお礼申し上げたいと思います。

常のことではありますが、事務局および発掘調査や報告書刊行にご協力いただいた関係部局、さらに資料分析等でご協力願った本学内外の研究機関・研究者各位に厚くお礼申し上げる次第です。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター長

稲 田 孝 司



例 言

- 1 本年報は岡山大学埋蔵文化財調査研究センターが岡山大学構内において1993年4月1日から1994年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、および活動成果をまとめたものである。
- 2 大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、設定基準を次のように定めた。
 - 1) 津島地区では、国土座標第5座標系(X=-144,500, Y=-37,000)を起点とし、真北を基軸とした構内座標を設定した。一辺50mの方形地区割である。また、同地区では調査の便宜上、大きく津島北地区と同南地区に二分する(図14~15)。
 - 2) 鹿田地区では、国土座標第5座標系(X=-149,800, Y=-37,400)を起点とし、座標軸をN15°Eに振ったものを基軸とした構内座標を設定した。地区割は一辺5mの方形を用いている(図16)。
 - 3) 本文中で用いる方位は、津島地区・鹿田地区は真北を、他は磁北を用いている。
- 3 岡山大学構内の遺跡の名称は、周知の遺跡の場合はそのまま踏襲する。津島地区構内については、全域を「津島岡大遺跡」と総称する。他地区は任意の名称で仮称する。
- 4 調査名称は、「発掘調査」に分類したものについては、各遺跡毎に調査順に従って次数番号で呼称し、「試掘調査など」に分類したものは、任意の名称を用いる。発掘調査のうち、小規模で、試掘調査から連続して調査したもの、試掘調査を経ずに調査したものは、「試掘調査など」に分類する。
- 5 「発掘調査」についての記述は現段階における概要であり、詳細は正式報告に依って頂きたい。「試掘調査など」については、本年報での記述を正式報告にかえる。
- 6 表に記載した所属部局は、原則として各学部の頭文字を略号として用いている。
- 7 本文・目次・挿図・写真などで使用の調査番号は表1と一致する。
- 8 本文は、阿部芳郎・松木武彦・山本悦世が分担執筆し、執筆者名は末尾に記した。また鹿田地区と津島地区出土の鉄製品と漆製品の分析を岡田文男氏に依頼した附編としてその成果を掲載した。
- 9 編集は稲田孝司センター長の指導のもとに、阿部が担当した。
- 10 本年報に掲載の津島地区の地形図は岡山市発行の1/2500の地図を複製したものである。
- 11 調査・整理において以下の方々にご援助・教示を頂いた。記して感謝申し上げる。

石川日出志, 犬飼徹夫, 遠藤七都子, 扇崎 由, 大塚達朗, 岡田文男, 木下哲夫, 熊野正也, 鈴木茂之, 鈴木正博, 高橋 護, 出宮徳尚, 戸沢充則, 中沢道彦, 中村五郎, 乗岡 実, 根木 修, 能城修一, 平井 勝, 矢島國雄, 山田昌久

岡山大学構内遺跡調査研究年報11 1993年度

目 次

第1章 1993年度岡山大学構内遺跡調査報告	1
1 調査の概要	1
2 発掘調査	1
① 津島岡大遺跡第10次調査<保健管理センター予定地>	1
② 津島岡大遺跡第11次調査<情報処理センター予定地>	9
3 試掘調査	14
4 立会調査	16
① 津島地区	16
② 鹿田地区	17
第2章 1993年度普及・研究・資料整理活動	24
1 資料整理	24
2 分析依頼	24
3 刊行物	24
4 調査員の活動	24
5 日誌抄	26
6 1993年度までの遺物保管状況	27
第3章 1993年度活動のまとめ	30
附 表	31
岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	40
1 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規定	40
2 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター管理委員会規定	41
3 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会規定	41
1993年度埋蔵文化財調査研究センター組織	43
1 センター組織一覧	43
2 管理委員会	43
3 運営委員会	44
附 編	45

挿 図 目 次

図 1	津島岡大遺跡第10次調査	調査区位置図	1
図 2	津島岡大遺跡第10次調査	土層断面図	2
図 3	津島岡大遺跡第10次調査	7層上面遺構平面図	3
図 4	津島岡大遺跡第10次調査	8～9層上面遺構平面図	4
図 5	津島岡大遺跡第10次調査	出土遺物	7
図 6	津島岡大遺跡第11次調査	調査区位置とグリッド配置図	9
図 7	津島岡大遺跡第11次調査	標準土層堆積図	10
図 8	津島岡大遺跡第11次調査	12～13層上面における遺構分布	12
図 9	津島岡大遺跡第11次調査	S I - 02 堅穴状遺構と周辺出土遺物	12
図 10	試掘地点位置図		14
図 11	試掘調査土層断面図		15
図 12	調査33の位置 (1/2500) と土層柱状略図		17
図 13	津島地区全体図		20
図 14	津島北地区		21
図 15	津島南地区		22
図 16	鹿田地区全体図		23
図 17	津島岡大遺跡第 5 次調査出土の堅櫛とその出土状態		45
図 18	鹿田遺跡第 3 次調査出土の刀子とその出土状態		46

写真目次

写真1	津島岡大遺跡第10次調査	土壙6（炉状遺構）	3
写真2	津島岡大遺跡第10次調査	8～9層上面遺構（南から）	5
写真3	津島岡大遺跡第10次調査	住居1（南東から）	5
写真4	津島岡大遺跡第10次調査	住居1土器出土状況	5
写真5	津島岡大遺跡第10次調査	井戸1（南から）	5
写真6	津島岡大遺跡第10次調査	土壙10a土器出土状況	6
写真7	津島岡大遺跡第10次調査	土壙17土器出土状況	6
写真8	津島岡大遺跡第11次調査	2層上面畝状痕跡完掘状況（北から）	10
写真9	津島岡大遺跡第11次調査	11層上面水田遺構完掘状況（北から）	10
写真10	津島岡大遺跡第11次調査	11～13層の遺構完掘状況（北から）	10

表目次

表1	1993年度調査一覧	18
表2	埋蔵文化財調査研究センター収蔵遺物概要	28
附表1	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982）	31
附表2	1992年度以前の構内主要調査（1983～1992）	31
附表2-（1）	発掘調査	31
附表2-（2）	試掘調査	33
附表2-（3）	立会調査	34
附表3	埋蔵文化財調査室刊行物	39
附表4	埋蔵文化財調査研究センター刊行物	39